

～消費者製品のリスク管理を支援します～

皮膚感作性の 定量リスク評価 を開始しました!

開発中や販売中の製品に含まれる化学物質がアレルギー性接触皮膚炎(皮膚感作性)を誘発する可能性について、定量的に評価することができます!



アレルギー性接触皮膚炎

開発中の製品が
アレルギー性接触皮膚炎を
起こさないか心配...



定量リスク評価 の実施

- ・製品の想定される使用方法
- ・製品中の化学物質の含有量 等

リスク評価結果例

評価した使用条件で
アレルギー性接触
皮膚炎を誘発する
リスクは低いと考え
られます。



評価の流れ



※皮膚感作性の発現は個人差が大きく、リスクが低いと判定された使用条件でもまれにアレルギー反応が起こることがあります。

評価したい製品の使用条件、含有化学物質等の情報に基づき、お客様のご要望を踏まえたばく露シナリオ(評価対象物質の選定を含む)を設定します。

評価対象物質の皮膚感作性強度の指標となる実験データ(LLNA*で得られるEC3やEC1.6)の情報に基づき、人に外挿するための調整係数(種差、個体差、使用条件等を考慮)を検討し、**許容ばく露量**を設定します。

* LLNA: Local Lymph Node Assay (マウスを用いた局所リンパ節増殖試験)

皮膚感作性強度に関する実験データがない場合、試験の提案が可能です。CERIIは、LLNA試験(BrdU-ELISA法、OECD TG442B)の豊富な実施経験を有しており、精度の高いデータを提供します(GLP対応可)。

設定したばく露シナリオに基づき、評価対象物質の**推定ばく露量**を算出します。

許容ばく露量と**推定ばく露量**の値を比較し、評価対象物質による皮膚感作性リスクを定量的に評価します。



CERIIは、評価目的等に応じた
リスク評価を提案します。
お気軽にご相談ください。

第35回日本リスク学会年次大会においてポスター発表を行い、優秀賞を受賞しました。

(https://www.cerij.or.jp/service/10_risk_evaluation/hazard_assessment_03_skin%20sensitization_risk_assessment.pdf)

ポスターはこちら >



CERI

一般財団法人 化学物質評価研究機構

Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

CERI リスク評価

検索

安全性評価技術研究所
評価事業部

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25日教販ビル7F
E-mail: cac-reach@ceri.jp Tel: 03-5804-6136 Fax: 03-5804-6139

2023.03